

やまがた



山県市社協マーク

【法人理念】

ともに生き ともに尊び ともに支え ともに築く

表紙題字 青木 裕輔さん(大門)



山県市地域福祉
推進キャラクター

～あなたの手からここから～ 第13回やまがた社会福祉大会を開催しました

ひろげよう福祉の輪

～元気な地域が山県市を変える～



11月1日(日)、美山中央公民館にて第13回やまがた社会福祉大会を開催しました。

式典のほか、東国原英夫氏による講演会、市内福祉施設等による授産製品の販売、フリーマーケットを行い、大変にぎやかな大会となりました。

この広報紙は
共同募金の配分金により作成しています



社会福祉法人山県市社会福祉協議会

岐阜県山県市岩佐1177番地1

TEL(0581)52-3010 FAX(0581)52-2941

E-mail info@y-shakyo.or.jp

ホームページアドレス <http://www.y-shakyo.or.jp>

◆高富支所

岐阜県山県市高木1000番地1

TEL(0581)22-6813 FAX(0581)22-2115

◆伊自良支所

岐阜県山県市大門850番地67

TEL(0581)36-2211 FAX(0581)36-2212

～あなたの手からここから～ 第13回やまがた社会福祉大会

テーマ：ひろげよう福祉の輪～元気な地域が山県市を変える～

11月1日(日)美山中央公民館にて、第13回やまがた社会福祉大会を開催し、500名を超える大勢の方にお越しいただきました。

ボランティア団体や福祉施設、協賛企業、福祉活動推進校の生徒さんなど多くの方々の協力をいただき、盛大に開催することができましたことに感謝申し上げます。

式典

長年地域福祉の向上にご尽力いただいた方への表彰を行いました。

被表彰者のみなさま

(順不同・敬称略)

表彰の部

★民生委員児童委員・主任児童委員功労

大西 榮子

★社会福祉関係役職員功労

中川小絵美、道江春華

★社会福祉事業活動功労(個人)

岡田 春子、榎並 貞子
棚橋 光代、上野志げ子
藤田 時子、早川 京子
杉山すみ枝、早川 道代
長屋 久子、長野 眞澄
古田美津子、早川 修
杉山佐智子、矢崎 幸代
松雪 元子

感謝の部

★高額寄付

鬼頭富美子、牧野 大修
公益財団法人田口福寿会

★特別会員継続協力

中山 智史、松久 久子

★賛助会員継続協力

大東化工株式会社
株式会社吉田住設
伏屋社会保険労務士事務所

作文紹介

式典で朗読していただいた、福祉活動推進校2校の生徒さんの作文をご紹介します。

『だれもが幸せに暮らせるために』

伊自良北小学校6年 佐村 彩巴さん

『障がい者の方や私達が幸せであること、それが福祉』
高富小学校6年 杉山 奈央利さん

『誰もが平等で思い合える未来にするために』

高富小学校6年 伊藤 理音さん

『だれもが幸せに暮らせるために』

伊自良北小学校6年 佐村 彩巴

私の祖母は、お年寄りの自立支援の手伝いをしています。お年寄りの閉じこもり予防になるように、たの



しく集まれる機会を作って活動しています。健康寿命が一日でも長く保てるようにみんなで歌を歌ったり、遊んだりしています。

祖母がこの仕事を始めたのは、お年寄りの笑顔が見たいからだだったそうです。笑顔は活動の中でもとても大切だと思います。福祉とは人々が安心して幸せに暮らせることです。まさにみんなの笑顔だと思っています。祖母に仕事をしていて大変なことを聞いてみました。耳が遠い方や目があり見えない方が大勢いるそうで、どんな人たちにもわかりやすい伝え方を工夫しているそうです。

実際に、私は学校でお年寄りの方と交流をしました。その中には、手足が不自由な方や耳の遠い方がみえました。一緒に遊んだり、話したりするときに、どのようにしたらいいのかわからなくて困ってしまいました。

私のように、どうしたらいいのかわからなくて戸惑ってしまう人は多

いでしょう。けれど、戸惑ってばかりいたら、お年寄りの方はどんな家に閉じこもってしまうと思います。

私の家の周りには、元気に散歩をしたり、田んぼや畑の手入れをしたりするお年寄りの方がたくさんいます。いつも私たちに負けない元気な声であいさつをしてくれたり、時には自分で育てた野菜をわけてくれたりもします。みんな優しく、働きの者の方ばかりです。祖母の活動は、こういったお年寄りが、長く健康でいられるために大切な活動なのだとわかりました。

高齢化社会といわれている今、「人々が安心して暮らせる」ようにするためには、世の中のみんなが、もしも自分だったらと、相手を思いやることが大切なのではないでしょうか。そのためには、一人一人が周りの人のことを意識することが必要です。世の中にはいろいろな人がいます。そのことを忘れずに、いつも相手の立場に立って、互いを思いやりながら生活していかなければならないと思います。

次に勇気をもって、きちんと行動に移すことも大切だと思います。お年寄りの方を敬いながら、できることをサポートして、どんな人も安心して暮らせるようにしていきたい

たいです。

これから、困っている人に出会ったら、ためらうことなく勇気を出して手伝えるようになりたいです。私の少しの勇気でだれかが笑顔になってくれたらうれしいです。

『障がい者の方や私達が 幸せであること、それが福祉』

高富小学校 6年 杉山奈央莉



障がい者の方も幸せでいられること。これは、より良い未来に欠かさないことです。そのためには、周りの人達が障がい者の方を思ってあげること。私は、これが福祉の未来がよりよくあるための第一歩だと考えます。

総合の授業で、足に障がいを持っている北村さんの話を聞いたとき、一番困っていること。それは、「迷惑駐車」だとおっしゃっていました。私はその話を聞き、自分が実際に大型専門店に行った時のことを思い出してみました。障がい者用の駐車

場に、車が停まっていました。お店に近いというような理由で停めている人がある。という様子を何度か見ていると、本当に障がいを持った方が停めることができない。困って当たり前だと思つたし、幸せであるためには、直していかないとけないものです。

直していくためには、自分に何ができるだろう。そう考えてみると、迷惑駐車をする人は、自分のことだけ良いように考えて、今、自分が停めている所は、障がい者の方のためにあるバリアフリーということや障がい者の方を思っていないのだと、北村さんも、迷惑駐車をするのは、「自分のことしか考えていないから」と同じようなことをおっしゃっていました。つまり私は、周りの人達が障がい者の方を考えてあげて、思うことが必要だと思いました。福祉の未来という、難しいもののように感じますが、このように、簡単なことから考えることができるのです。

ただ、北村さんのお話だけで、本当に迷惑駐車が一番困るのか、そう思う人もいられるでしょう。確かに、思いにくいかも知れませんが、しかし、「障がい者」という方がこの世界には何人もいて、自分の身近にもいるかもしれない。でも、周りの人間は、そういう方たちの生活をよりよくす

るバリアフリーを自分勝手に使っているという事実がある限り、障がい者の方の目線で考えると「困る」「いや」、そんな気持ちになっても当たり前だと思えます。そういう事を直していくために、やはり障がい者の方を思うことは大切だと思います。

この前、障がい者の方の気持ちを知らするために、実際、車いすや白杖体験をしました。そこで体験してみると、慣れない所だと特に「怖い」と思いました。でも、周りの子が少し手助けをしてくれるだけで、安心感を感じることができました。車いすを押してもらつと、坂は特にその方が安心できます。アイマスクでは、声をかけてもらつと、とても安心できます。そういうことから、周りの人の行動も障がい者の方に対して関係してくることがわかるし、その周りの人に少しでも支えてもらえると気持ちや和らぐことがわかります。私が、体験に行った高富公民館の方達も、足の不自由な方、お年寄りの方、特に多く利用されるそうです。なので、車いすの方には、スロープがある行きやすい場所を案内したり、お年寄りの方などには、事前にスロープを付けておいたりしているそうです。その話を聞いて私は、障がい者の方を思って、その目線で考えて、気配りをするのも大切だと思いま

した。そういう事をたくさんの人たちがやっていけば、迷惑駐車などもなくなっていく、福祉の未来がよりよくなることにつながるのではないかと思います。

福祉の未来がよりよくあること。そして、障がい者の方に、少しでも幸せでいてほしい。そのために私がしていけることは、三つあります。一つ目は、障がい者の方を思っていること。二つ目は、障がい者の方の、目線に立って考えること。三つ目は、気配り、行動をすること。私はこの三つが大切だと思います。簡単だと思う人もいれば、難しいと思う人もいるかもしれません。

身近なことからやっていけば、それで福祉の未来は、変わっていくと思います。そして、その一つ一つが、福祉のよりよい未来につながっていくと私は思います。

『誰もが平等で思い合える未来にするために』

高富小学校 6年 伊藤 理音

誰もが平等でお互いを思い合える暮らしが続くこと。これは、よりよい未来に欠かせないことだと思います。そのためには、普段の生活の中で、お互いを思いやること、

そして支え合うことを大切にしなければいけないと私は思います。

九月の下旬に、私は総合の学習でお店に行き、障がい者体験をしました。白じょうを使ったり、車イスにのって店内をまわったりしました。店内には、はばのせまい通路もあって通れずいました。困っている私に、お店にいたお客さんが、「大丈夫？そこひつかからないようにね。」と、やさしく声をかけてくださいました。困っている時に、一言だけでもこうして声をかけてもらえると、すごく頑張ろうという気持ちになりました。障がい者の方も、そんな言葉がかけられたらきつとうれしいし、前向きな気持ちになれると思います。それだけではなく、私の学級でも思いやりという言葉を大切にしています。私がよく聞く言葉は、ありがとう。大丈夫？などという声です。それを聞いている方もいい気持ちになる、魔法の言葉だと思います。



ただ、思いやりや支え合いを大切にしても、平等という言葉には、つながらないという人もいるかもしれません。でも、誰もがそういう気持ちを強く持ち、思いやりや支え合いを生活の中で生かしていけば、平等につながっていくのではないかと私は思います。でも、それを行動に表す勇気が出せない人も世の中には

きつといると思います。私もきつと緊張して、すぐには行つてあげられませんが、でも、私が障がい者で困っている時、だれも助けてくれなかったり、声もかけてもらえなかったりしたら、とてもいやな悲しい気持ちになります。だから、障がい者の方々も、もしそんなことがあったらきつと、苦しいだろうし、今の私と同じ気持ちになると思います。だから、だれもが安心して、生活を送っていけるような未来にもしていきたいです。だからこそ気づいた人が自分から、障がい者の方に声をかけたり助けてあげられるようにしていくことを大切にしたいと思っています。

このように一人一人思いを強めれば、平等という言葉に少しずつ、つながっていくのではないかと思います。そのために大切にしていききたいことが三つあります。一つは、思いやりという言葉大切にしていけるこ

とです。思いやりを大切にすれば、いつ、どんなときでも、人と気持ちよく関わっていくことができると思うからです。障がい者の方だけでなく、誰に対しても生活の中でも活かしていける大切なことだからです。

二つ目は、勇気を持つことです。障がい者の方々と関わらせて考えるなら、障がい者の方が困っている時、勇気を持っていないとなかなか助けたり、声をかけたりすることができません。勇気を持っていれば、やさしく助けられるし、助けてもらった方々も助けた方も、あたたかい気持ちになるしスッキリすると思うからです。いきなりだと難しいので、自分の身近なところから勇気を持てるいいと思います。私も、困っている時に声をかけることはあります。でもそれは身近な存在の方々ばかりです。また、障がい者の方々に限らず、学級でも思いやりという気持ちを増やしていきたいし、もっと身近な存在の家族のみんなにも、思いやり、支え合いという気持ちを持って接したいです。「誰もが平等で思い合える未来」になるように、生活していけるように頑張りたいと思います。

岐阜県社会福祉大会 表彰団体

10月28日、長良川国際会議場にて岐阜県社会福祉大会が開催され、山県市から4団体が表彰されました。

岐阜県社会福祉協議会会長感謝

★社会福祉事業協力援助団体

伊自良クローバー会・いわ桜友の会



▲伊自良クローバー会



▲いわ桜友の会

岐阜県共同募金会会長表彰

★優良奉仕団体

学校法人春日学園 はなぞの北幼稚園

優良社会福祉協議会

★買い物支援活動の推進

山県市社会福祉協議会



▲学校法人春日学園 はなぞの北幼稚園



▲山県市社会福祉協議会

歳末たすけあい運動が始まります！

10月から実施しています「赤い羽根共同募金運動」に地域の多くの皆様にご協力いただき、誠にありがとうございます。12月1日から1か月間は、「歳末たすけあい運動」も行われます。この運動は、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことを目的に実施しています。市民の皆様から寄せられた募金は、一旦岐阜県共同募金会へ送金された後、全額が山県市の福祉のために配分されます。

～街頭募金にご協力をお願いします！～

民生委員・児童委員等の協力を得て、下記日程で街頭募金を行います。

- 12月13日(日) 9時30分～11時30分
平和堂、パロー高富店、
パロー高富北店、マルキ
- 12月20日(日)
8時30分～10時30分
てんこもり



▲昨年の募金活動の様子

知って安心！介護保険②⑥

◆訪問介護サービス(ヘルパーさん)に お願いできることって何？

- 家事援助(調理・配膳、掃除、洗濯、ごみ出し、ふとん干し、買い物代行 など)
- 身体介助(室内移動・移乗、食事、排泄、入浴、服薬、着替え、整容 などの介助)

基本的には、要支援あるいは要介護と認定された方(利用者さん)が、この援助がなければ日常生活が困難である、と判断される場合に提供されるサービスです。

◆訪問介護サービス(ヘルパーさん)に お願いできないこと

- 日常的に使用されない部屋の掃除や大掃除
- おせちなどの行事食の調理
- 同居される方の衣類の洗濯や食事の準備
- 嗜好品や行事等に関わる非日常的な物品の買い物 など

通院は、ご自宅から病院まで付き添うことは可能ですが、院内介助はできる場合とできない場合があります。また、専門的な知識を必要とする医療行為はできないので注意が必要です。

ヘルパーさんのサービスについてわからないことがあれば、担当のケアマネージャーか福祉総合相談窓口(52-2800)までお問い合わせください。



ふくしの心を育てよう



美山小学校・伊自良南小学校で高齢者体験をしました！

10月9日、美山小学校6年生が、高齢者体験キットを身につけ、高齢者体験をしました。肘や膝を固定し歩きにくくするおもりや、視界が狭くなるアイマスクなどを付け廊下や階段を歩きました。



生徒のみなさんは「こんなにも大変だとは知らなかった。階段を上るときは、積極的に手伝いたい。」と高齢者への思いやりの心を学んでいました。

10月23日には、社協デイサービスやすらぎにて、実際に利用者さんとお話をしました。「聞き取りやすいよう大きな声で話すことが大切だと分かった。」と新たな発見をしていました。

11月4日、伊自良南小学校6年生が、総合の学習で高齢者について学びました。



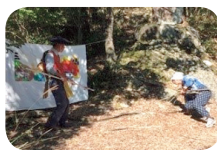
高齢者になると心身の状態はどうなるのかを考えたあと、福祉体験サポーターに教えてもらいながら、高齢者体験をしました。

介助者役の生徒は、「気をつけてくださいね。」などと手を添えながら誘導していました。高齢者体験をしてみて、「普段おばあちゃんの手が震えたり、座るのが大変だという気持ち分かった。」と話していました。



住民みんなが主役！ 福祉のまちづくり

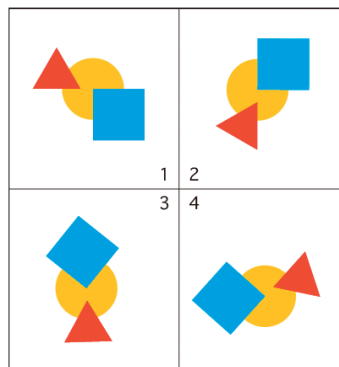
戦国時代、美濃の国斎藤道三は堅牢な土岐の大桑城を攻めあぐんでいました。近くのばあさんに抜け道を尋ねると、「そんな道は知らん」と相手にしませんでした。侍のおどしや早く戦が終わってほしい思いから、「実はな、抜け道は知らんが、城を落とす方法ならあるぞ。」「火道を作ればいいのじゃ。山のふもとからお城の下まで道幅くらい木を切っておくんじゃ。その木が枯れたころ火をつけるんじゃ。」と教えました。



何日が経ったある日の明け方、大桑城に向かって城山が真っ赤に燃えていました。斎藤氏側の侍が、餅屋のばあさんに教えてもらった方法で攻めたのです。守りが固かった大桑城もとうとう落ちてしまい、土岐氏はわずかな家来を連れて北国へ逃れていきました。餅屋のばあさんの入れ知恵で大桑城が落ちたと思った大桑の人々は、「俺たちの城主を裏切った」と言って、大変怒ったそうです。現在、城山の麓にある「千人塚」や「六万墓」は、その時の戦いの激しさを物語るものだと、言い伝えられています。（参考文献「美濃と飛騨のむかし話」）

私たち「大桑の魅力PR会」はこの話を寸劇にして今年10/17に城山山頂で上演しました。写真は上演の一コマです。

大桑の魅力PR会



【10月号のこたえ】「龍」

脳を元気に！
脳トレーニングコーナー
「違うのはどれかな？」
4枚の絵のうち、1枚だけ違う図形があります。
どれでしょう？

〔職員募集〕

〔広告〕

看護師 准看護師 介護職員



担当：吉田
TEL0581-36-2800
山口市大門773

介護老人保健施設
山県グリーンポート

企業広告